学校だより

大いちょう No.12

令和５年１０月１０日発行
ひたちなか市立津田小学校
TEL　２７４－２０１０

後期始業式（R5. 10. 10）

後期は、あいさつ運動から始まりました。元気なあいさつに迎えられ、顔を上げてあいさつを交わす姿が見られました。後期始業式の代表児童作文には、学級の目標を達成するために助け合って生活することや、責任ある仕事をやり遂げて自信にした前期の経験から、後期も様々なことに挑戦するなど、前向きな気持ちが表れていました。全校児童の儀式的な行事は３回目ですが、高学年の立派な姿を見習って、低・中学年も落ち着いて式に臨んでいます。

後期始業式児童代表作文

＜３年生＞

ぼくは、後期にがんばりたいことが三つあります。

一つ目は、友だちとたすけ合いながら生活することです。ぼくたちのクラス目ひょうは、「たすけ合って、力を合わせて、なかまのことを考える３年２組」です。クラスのみんなで決めました。ぼくは、あまりできていないと思うので、後期はがんばりたいと思います。

二つ目は、音楽です。歌は歌えるけど、リコーダーやけんばんハーモニカがにがてです。音をまちがえたり、おそくなったりしてしまうからです。とくに、３年生からはじまったリコーダーは、高いドとレがまちがいやすいので、上手にえんそうできるように、たくさんれん習したいと思います。

三つ目は、字をていねいに書くことです。いつもマスから字がはみでてしまうので、漢字ドリルの宿題のときや、国語のじゅぎょうのときなど、いしきして、一字一字ていねいに書こうと思います。

後期は、この三つの目ひょうがたっせいできるようにがんばりたいと思います。

＜６年生＞

津田小の最高学年となり、半年が過ぎました。様々な経験をした前期でしたが、その中でも、私は前期の運動会の係活動を責任をもってやりきることができました。ですが、前期の間にやりとげれらなかったことが三つもありました。

一つ目は、あいさつです。前期はクラスメイトや下級生に自分からあいさつがなかなかできませんでした。理由は、自分からするのがはずかしかっったり、あいさつをしても返事をしてもらえなくて不安になってしまったからです。それをなくすために、最高学年の私からあいさつをして、あいさついっぱいの学校にしていきたいです。

二つ目は、授業中に手を挙げられなかったことです。その原因は、まちがえるのがこわかったからです。後期は自分から進んで勉強し、自信をつけて手を挙げられるようにしたいです。そして、この自信を中学校に生かしていきたいです。

三つ目は、登校についてです。１年生が入学した時は、１年生のペースに合わせて歩いていましたが、なれてきてからは１年生を気にせず私のペースで歩くことが多くなってしまいました。そこで、後期からはいつも以上に気をつけてみんなを安全に学校につれて行きたいです。そして、みんなにたよられる班長になりたいです。

この三つが、私の達成したいと思っている後期の目標です。これを達成するために自分で考え努力しがんばって、最高の６年生になりたいです。私が津田小で過ごせる時間は、残り半年ですが、この半年を使って、思い出に残る学校生活にしていきたいです。

５年生　宿泊学習（10/3～10/4）

「つながる心　最高の笑顔で　光り輝く思い出を」をスローガンに、自然に囲まれた水戸少年自然の家で、１泊２日の宿泊学習が行われました。焼き杉板作り、ウォークラリー、キャンプファイヤー、カレーライス作りを、友達と協力して行いました。一人一人の役割に責任をもち助け合って仕事をしたり、全員でレクリエーションを楽しんだりして、笑顔あふれる共同学習でした。体験を通して、責任感や自主性、助け合いや協力などを学び、友情を育みました。